

# 石油ストーブ

## 石油ストーブなどの安全な取り扱い

近年、東日本大震災による電力事情により、電気を必要としない石油ストーブの販売台数が大幅に増加していますが、石油ストーブは取り扱いを誤ると火災になる危険性があります。大切な我が家が火災とならないよう、次の点に注意しましょう。

### ストーブの周囲には・・・

- 紙や衣類などの燃えやすいものを置かない。
- ヘアスプレーなどの引火の危険性があるものを使用しない。
- カーテンなどが接触しないように離して使用する。
- ストーブの上に洗濯物などを干さない。

### 使用方法は・・・

- 取扱説明書をよく読み、正しい方法で使用する。
- 給油は石油ストーブの火を消してから行う。
- カートリッジタンクの場合、給油後は確実にふたを閉めること。
- できるだけ対震自動消火装置付きのものを使用すること。
- 点火後は正常に燃焼しているか確認すること。
- 就寝時、外出時は必ず消火しているか確認すること。
- 暖房シーズン前に十分な点検・整備を実施し、故障しているものは使用しないこと。

### 灯油の保管方法は・・・

- 灯油を保管する容器は適合性に係る推奨ラベル、または認定証が貼付された容器を使用し、必ず栓をしっかり閉めること。
- 保管場所は火気から遠ざけるとともに、直射日光をさけた冷暗所とすること。
- 地震などにより転倒したり、落下物などで容器が破損しないように保管すること。

石油ストーブに限らず、電気ストーブでも火災の発生する危険性があります。ストーブの取り扱いにはくれぐれもご注意ください。

## お問い合わせ

予防課 電話：0949-32-1131